

ESD

Education for Sustainable Development

視野を広げて、自ら行動できる人に。

ユネスコが推進するESD「持続可能な開発のための教育」をもとに、社会人、国際人としての物の見方、考え方を身につけるため、総合的な学習の時間を「学芸ESD」と名付けて取り組んでいます。

環境教育	1年次	身近な問題を通して、環境問題や資源問題を学習します。授業の中では、実習や新聞を利用したワーク、さらに、ポスターセッションも行います。
世界遺産学習	2年次	世界遺産が持つ「顕著な普遍的価値」を学ぶことを通じて、さまざまな文化の多様性の理解を深め、次の世代に受け継いでいくにはどうすればよいかを考えます。
小論文指導	3年次	正確に読み取る力だけでなく、書かれている情報から目的に応じて内容を理解して意見を書くことができるよう、文章の組み立て方の基礎を学習します。
プレゼンテーション	4年次	ビジネスプランコンテストへの参加や、遠足を企画立案する取り組みを通して、プレゼンテーションの手法を学びます。また、時事問題を取り上げ、調べ学習やディベートを行い、社会と対峙する力を養います。
探究ゼミ	5年次	ゼミ形式で授業を展開。経済学ゼミや化学ゼミ、外国語ゼミなど。調べ学習や実験を行い、それを発表やレポートにまとめ、探究していきます。

海外研修／海外修学旅行

3年生は海外研修としてオーストラリア、5年生は海外修学旅行としてヨーロッパ方面へ行きます。現地の学校と交流をし、ファームステイ体験・世界遺産を見学し、各国の伝統や文化に触れ、グローバルな視点を身につけます。



ターム留学

(3年希望者)

社会がグローバル化し、とくに英語4技能の育成が急務の課題となっております。そこでグローバルな人材となるべく、本校では平成26年度より3学期に3ヶ月間のターム留学を実施してきました。今年度はオーストラリア(シドニー、ジンブバ)、カナダ(ノーバンからヴィクトリア)の3コースに分かれています。



イングリッシュキャンプ

(1、2年希望者)

語学レベルに合わせて10人～12人のグループに分け、1つのグループに外国人留学生1名がついて様々なアクティビティを実施します。昨年度は、最終日に京都の世界遺産を訪れ、外国人観光客に世界遺産のガイドングを行いました。



RYS

Ron Yori Shoko

人生を変える、「学び」との出会い。

「論より証拠」をスローガンに、企業や高等教育機関において、施設の見学や実験演習等を行う企画が「学問探究団RYS(論より証拠)」です。急速に変化する現代社会を生き抜くためには、自ら学び続ける姿勢を身につける必要があります。そのためにも、多感な中高時代に、本物の技術やプロの人たちに触れ、最先端の情報を知る機会を与えることで、社会への関心を持たせることが大切です。本校では「学問探究団RYS」を通じて、生徒の知的好奇心を刺激し、自ら考え行動する姿勢を養います。

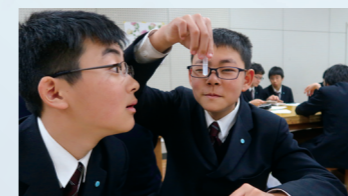
RYSの実践例・アドベンチャーホスピタル

大阪医療センターが主催する、「アドベンチャーホスピタル」に参加しました。実際に現場で働くスタッフの方々にレクチャーを受けながら、手術体験や注射体験、心臓マッサージ体験などを行いました。今まで医療に関わる仕事は「医療」「看護師」「薬剤師」しか知らなかった生徒達も、「理学療法士」「作業療法士」「臨床検査師」「管理栄養士」など様々な仕事があることを知ることができ、視野が広がったと思います。(生徒の声)



白熱教室

様々な企業の方や大学の先生方をお招きし、今学んでいることとのつながりや、その大切さをお話していただきます。



土曜講座

土曜の午後を使って、仲間づくりやグループ学習を目的として、通常の授業では経験できないような「楽しみながら学ぶ」多種多様なプログラムを実施しています。



ビブリオバトル

ビブリオバトルとは、それぞれが自分の選んだ本を5分間でプレゼンする書評合戦です。普段の読書の習慣を活かし、学内で大会を実施しています。外部の大会にも積極的に参加しています。

